

研究プロジェクト「すきまの組織化」
 Research Project: Organization of Sukima-Border

実施期間： 2007～2009年度

Term of the Project: 2007-2009 fiscal years

研究代表者： 鳥海 光弘 国際高等研究所企画委員／東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

Project Leader: Dr Mitsuhiro TORIUMI, Member of the IIAS Planning Board;

Professor, Graduate School of Frontier Sciences,
 The University of Tokyo

研究目的：

高等研プロジェクトで複雑性—多様性—隙間という自然科学、工学、医学、社会科学、人文科学を横断したテーマで、従来サイエンスが避けてきた中間的な規模や時間スケール、階層的な現象、個別性と普遍性の関連などの問題群の有り様と意義について研究してきた。その結果、複雑性の起源や多様性の起源が多く、隙間という存在に大きく関連し、それがさまざまな分野で直接には避けてきたものの総体、とくに対象のもつ中間性、階層性、非定常性、および履歴敏感性などの関与したところの融合的研究が必須であるとの結論に達した。それら4つの性質の交差するダイナミックスはこのプロジェクトで取り上げる隙間の組織化ということがらである。本研究プロジェクトは隙間の組織化について、理学、工学、医学、社会科学、人文科学から融合的に研究する。

Objectives:

During past decades, we studied that the phenomenological framework of the Sukima-border which represents a conceptual space outside of well-defined scientific worlds in terms of physics, mathematics, earth sciences, medical science, biology, literature, philosophy, sociology, and engineering in the context of complexity – diversity – border. The multidisciplinary researches indicate the importance of the connection of intermediate scales in space and time, hierarchical state, non stationary state, and history-sensitivity in the border. We, therefore, propose the new multidisciplinary program on the organization of the sukima-border as the border dynamics.

キーワード： 隙間、リアリティ、アクチュアリティ、モデル、階層性

Key Word: **Sukima** -border, reality, actuality, model, hierarchy

参加研究者リスト： 12名（◎研究代表者 □コアメンバー）

- | | |
|--------|---------------------------------|
| ◎鳥海 光弘 | 国際高等研究所企画委員／東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 |
| □伊藤 伸泰 | 東京大学大学院工学系研究科准教授 |
| □大坂 元久 | 日本獣医生命科学大学獣医学部教授 |
| □神谷 和也 | 東京大学大学院経済学研究科教授 |
| □鬼頭 秀一 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 |
| □熊野 純彦 | 東京大学大学院人文社会系研究科准教授 |
| □下田 正弘 | 東京大学大学院人文社会系研究科教授 |
| □西森 拓 | 広島大学大学院理学研究科教授 |

□似田貝香門	東京大学名誉教授
□松永 澄夫	東京大学大学院人文社会系研究科教授
□森反 章夫	東京経済大学現代法学部教授
□吉田 善章	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

研究活動実績 :

2007年度 :

2007年度は6月と11月にコアメンバーでの討論と8月30日から9月7日までの夏季セミナーを実施し、終了した。2007年度の研究成果は、哲学領域からは人間と世界とのすきまに介在する技術としての科学という組織化、仏教学においては伝承におけるすきまとその時間的変化としての組織化、理論物理学では最大原理と経路積分からみたすきまと組織化がしめされた。また、社会学では公共性と個別性との2重構造のすきまが組織化によって変容する有様があきらかにされた。地球科学や医学では実態としての運動体のすきまがあらたな力学系を遍歴することや、心臓の規則的脈動から細動へといった変化の過程がしめされた。このような現象あるいは運動がすきまの発生とその内部における組織化および外部からの組織化によるものであることが推論された。

研究会開催実績 :

第1回： 2007年6月23日 (於：高等研)

第2回： 2007年11月24日～25日 (於：高等研)

ワークショップ： 2007年8月30日～9月7日 (於：高等研)

ワークショップ参加者：26名

合原 一究	京都大学大学院情報学研究科大学院生
秋山 高行	東京大学大学院工学系研究科大学院生
秋山 正和	広島大学大学院理学研究科大学院生
伊多波 宗周	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
上野 竜也	広島大学大学院理学研究科大学院生
小林 優子	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
小宮山 純平	東京大学大学院工学系研究科大学院生
島田 尚	東京大学大学院工学系研究科助教
島村 修平	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
手塚 博	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
富田 涼都	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
中津 智世	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
永野 慎	京都大学大学院理学研究科大学院生
中村 岳史	京都大学大学院生命科学研究科講師
沼澤 修平	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
林 裕之	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
福永 真弓	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生／日本学術振興会特別研究員
本多 康生	日本学術振興会特別研究員
真壁 和裕	徳島大学総合科学部教授
麻住 知弘	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
松本 茂紀	東京大学大学院工学系研究科大学院生
村瀬 洋介	東京大学大学院工学系研究科大学院生

八尾 史 東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
矢野 善久 東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
山口 裕之 徳島大学総合科学部人間社会学科准教授
湯川 諭 大阪大学大学院理学研究科准教授

2008 年度：

2008 年度の w s は 9 月 13 日から 19 日まで 30 名ほどの参加でワークショップを開いた。w s に鈴木氏（哲学）蔵本氏（物理学）を招待し、それぞれの分野からの話題提供をいただき、コアメンバーのレクチャーとを織り交ぜた。その結果、フランス現代哲学とすきまの組織化、科学における現象横断の視点について議論がとりかわされ、また、コアメンバーからは、階層化、相互浸透、履歴、共時などのキーワードからみたすきまの組織化の概念構築に議論が集約された。その結果 2008 年度の成果として、隙間の組織化というダイナミックスは、近接する複数の実体の通時的な挙動が階層化や履歴を生み、そのトポスが共時的な構造を持つかどうかということによって大きく変化することが新たに焦点として浮かんだことが挙げられる。

研究会開催実績：

第 1 回： 2008 年 6 月 14 日～15 日 （於：高等研）
第 2 回： 2008 年 11 月 29 日～30 日 （於：高等研）

ワークショップ： 2008 年 9 月 13 日～19 日 （於：高等研）

話題提供者：2 名

蔵本 由紀 京都大学名誉教授
鈴木 泉 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

ワークショップ参加者：16 名

合原 一究 京都大学大学院理学研究科大学院生
朝倉 友海 東京大学大学院人文社会系研究科教務補佐員
河合 良介 広島大学大学院理学研究科大学院生
川面 洋平 東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
越門 勝彦 立教大学非常勤講師
齋藤 康則 大分大学福祉科学研究センター講師
島村 修平 東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
清水 亮 東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
忠地 慧 東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
永野 悅 京都大学大学院理学研究科大学院生
沼澤 修平 東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
福永 真弓 立教大学社会学部助教
本多 康生 日本学術振興会特別研究員
簗輪 陽介 京都大学大学院理学研究科大学院生
山口 裕之 徳島大学総合科学部准教授
萬屋 博喜 東京大学大学院人社会系研究科大学院生

2009 年度：

2009 年度は前回までに検討された隙間の組織化の基幹的概念である、階層化、相互浸透、留保、通

時と共に、順序列などの構成的なダイナミクスについて、哲学と社会学および物理学を中心に集中討議した。その結果、無構造の隙間から構造化される組織化というダイナミクスは現象として階層化と順序列をもつ共時化されない運動を伴うことが重要であろうと結論づけられた。それは、数理的にも相互浸透と留保という冗長な相互作用を持ち、新たにそのような冗長で多重な関係性を取り入れた力学系は、新機軸となりうるといえよう。

隙間が基本的には存在するあらゆる事物、事象、そして概念のなかに、規定されざるものという存在であり、それが規定される存在の多様性の起源であると想定されるために、その隙間がどのように構造化され、隙間自体の中に自己言及的に隙間を構成していくかについてのダイナミクスが規定された存在と隙間との冗長な相互作用に基づくものであるという結論は多様性の起源もまたそのような冗長な相互作用の結果であり、結果として隙間の構造化に組み込まれる階層の期限でもあるという結論を得た。

研究会開催実績：

第1回 2009年6月6日～7日 (於：高等研)
第2回 2009年11月14日～15日 (於：高等研)

ワークショップ：2009年9月5日～11日 (於：高等研)

話題提供者：2名

清水 亮 東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
鈴木 泉 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

ワークショップ参加者：15名

朝倉 友海	神奈川大学非常勤講師
江本 伸悟	東京大学大学院新領域創成学科大学院生
清塙 明朗	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
島村 修平	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
富田 涼都	東京大学大学院農学生命科学研究科特任研究員
永野 悅	農業生物資源研究所植物科学研究領域特別研究員
原田 峻	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
平岡 紘	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
福永 真弓	立教大学社会学部助教
松浦 和也	埼玉大学非常勤講師／東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
松本 茂紀	東京大学大学院工学系研究科大学院生
三浦 秀忠	東京大学大学院工学系研究科大学院生
光田 尚生	東京大学大学院工学系研究科大学院生
村瀬 洋介	東京大学大学院工学系研究科大学院生
森野 佳生	京都大学大学院情報学研究科大学院生

その他参加者：2名

大堀 研 東京大学社会科学研究所助教
清水 亮 東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授

Achievement:

2007 fiscal year:

In the core member conferences of last June and November and main seminar of 30th of August to

7th of September, we discussed the Sukima-border and organization from the viewpoints of philosophy, religion, sociology, physics, biology, earth sciences and medical sciences. It follows that the organization of the sukima involves two meanings: the first is the organization within the sukima by its own properties and the second is that invaded outside the sukima.

2008 fiscal year:

In June, core members discussed program of the workshop of Nov. 13-19th. Professor Suzuki of Univ. Tokyo and Emeritus professor Kuramoto of Kyoto Univ were invited as comprehensive lectures from philosophy and science fields during summer ws. We set the keywords for well organization of the transdisciplinary ws on sukima- organization, and took the concentrated discussions on several sub-sukima dynamics of hierarchy, interpenetration, spatio-temporal structure, history. It concluded that dynamics of the sukima organization is strongly dependent on the interplay between two independent substances and the generation of hierarchy and history, being related to the spatio-temporal structure.

2009 fiscal year:

In this year, core member meetings were held in June and November and main summer workshop was open during one week of September. Professor I.Suzuki of University of Tokyo has been invited to suggest some idea on organization of sukima in view point of philosophy. The concentrated discussions were started at spatio-temporal development of sukima forming hierarchy structure within the sukima. During the ws, the following conclusions were presented.

The time series of phenomena does not almost always contain the coeval spatial structure and often shows the irreversible arrays of elementary processes having redundant and multiple interactions among them. This type of behavior of sukima dynamics also induces the diversity of the sukima itself and surroundings.

研究活動総括 :

隙間の組織化は、さまざまな学術分野でとりあつかうことが困難な中間領域、階層性、非定常性をもつ実在のダイナミクスを扱うには、数理的な厳密さのほかに哲学や社会学、倫理学、宗教学などや、自然科学などの方法論を融合することにより、新機軸の学術的な分野の創出と新しい考究すべき対象の発見を目指すことに、問題設定を試みたものである。この目的は、学術一般のみならず、人類社会において深まりつつある、多数の軋轢や矛盾について探求し、その解決に向けての新しい文理融合の学術分野創出をめざしたものである。さらに、それを担うような若手研究者の育成を目的に、広範囲の分野の大学院学生を一堂に会して、共通のテーマで討議し、また、長期にわたる寄宿生活を通じて、日常的に多方面にわたる内容で自立的に討論することも重要な目的である。

この3年間の研究会の内容は3つに分けることが出来る。ひとつは、隙間の組織化が隙間の時間的変化に現象しているということである。つまり隙間というさまざまな分野で違ってみせる様相の共通した時間変化が階層化にありそうである。二つには、階層化や構造形成で表される組織化は多様な側面を持ち、数理的には分野に現れる現象の異質さを超越した構造があるらしい。三つには、そのような構造変化は通時的にも共時的にも一様なものではなく、不均質で不連続な要素の順序列を作る。そして、それらの間の関係は留保を持つ冗長で多重なものであるということである。

このように、隙間の組織化という命題がもつ潜在的な可能性は、世界に現れはじめた諸種の隘路や矛盾について、従来のように単線的な問題意識と解決手法では不可能な探求の方法をもたらすと思われる。そして、現在世界的に問題となっている文理融合の新分野を模索し構築する契機を与えるだろうと思われる。また、そのような新分野への人材を育成するにはここで培われた文理系を超えた大学院生レベル

の長期合宿形式のワークショップのノウハウが大きな意味を持つと思われる。

Whole Achievement:

The purposes of the organization of the sukima project are composed of three items: one is spatio-temporal variation of development of the sukima that induces diversity of mode of existence and phenomena by means of trans-disciplinary researches among human sciences, natural sciences, physics, and medical sciences. The second item is the progress in educational program that enhances cross disciplinary discussions between human and physical sciences graduate students. The third is incubation and foundation of new field of fusion sciences of human and physical sciences in order to investigate the modern serious problem invading the world and basic sciences.

After three years project entitled as organization of the sukima, it is concluded roughly that organization of the sukima is revealed in the time dependent structural change of the sukima in many substantial processes and hierarchy structures formation processes of the sukima have common mathematical core structure even in many academic fields and thus the terminologies of both human and physical sciences have mutually encouraging affects for advancement of their disciplines. And it is strongly suggested that the structural changes of the sukima should be represented by the irreversible arrays of the elementary processes acting with redundant and multiple interactions.

Besides, the sukima organization problem in the academic fields can be potential to provide the new tool for recognizing this world conflicting problems and academic puzzling. Further, it is suggested that the workshop style established in this project can be very available for educational training to young persons having innovative skill in human and physical sciences fields.

研究成果報告書の出版： 研究成果報告書は 2011 年 2 月出版予定

担当： 尾池所長

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2007年度第1回コアメンバー研究会プログラム

開催日時：2007年6月23日（土） 9:30～17:00

開催場所：国際高等研究所セミナー2（2F）

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所特別委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：金森順次郎 所長

出席者：(7人)

研究代表者	* 鳥海 光弘	国際高等研究所特別委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
参加研究者 (6人)	* 伊藤 伸泰 下田 正弘 * 似田貝 香門 松永 澄夫 森反 章夫 吉田 善章	東京大学大学院工学系研究科准教授 東京大学大学院人文社会系研究科教授 東京大学名誉教授 東京大学大学院人文社会系研究科教授 東京経済大学現代法学部教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

*：スピーカー

プログラム

6月23日（土）

9:30～12:00 研究会〔セミナー2〕

自己紹介

話題提供者：吉田 善章 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
演題「複雑系から<隙間>までの研究の流れ」

12:00～13:30 昼食〔コミュニティホール〕

13:30～17:00 研究会〔セミナー2〕

話題提供者：鳥海 光弘 国際高等研究所特別委員

東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

演題「昨年度までの<隙間>の総括」

話題提供者：似田貝 香門 東京大学名誉教授

演題「今年度からの研究」

自由討議及び夏のワークショップについて

配付資料

なし

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2007 年度ワークショップ プログラム

開催日時：2007 年 8 月 30 日（木）13：30 開始

2007 年 9 月 7 日（土）12：00 終了

開催場所：国際高等研究所セミナー1、研究個室 102、103、104、105（1F）

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所特別委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：金森順次郎 所長

出席者：（36 人）

研究代表者	* 鳥海 光弘	国際高等研究所特別委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
参加研究者 (35 人)	* 伊藤 伸泰	東京大学大学院工学系研究科准教授
	* 大坂 元久	日本医科大学老人病研究所准教授
	* 鬼頭 秀一	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
	* 下田 正弘	東京大学大学院人文社会系研究科教授
	* 西森 拓	広島大学大学院理学研究科教授
	* 似田貝 香門	東京大学名誉教授
	* 松永 澄夫	東京大学大学院人文社会系研究科教授
	* 森反 章夫	東京経済大学現代法学部教授
	* 山口 裕之	徳島大学総合科学部准教授
	* 吉田 善章	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
	合原 一究	京都大学大学院情報学研究科大学院生
	秋山 高行	東京大学大学院工学系研究科大学院生
	秋山 正和	広島大学大学院理学研究科大学院生
	伊多波 宗周	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
	上野 龍也	広島大学大学院理学研究科大学院生
	小林 優子	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
	小宮山 純平	東京大学大学院工学系研究科大学院生
	島田 尚	東京大学大学院工学系研究科助教
	島村 修平	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
	手塚 博	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
	富田 涼都	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
	中津 智世	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
	永野 悅	京都大学大学院理学研究科大学院生

中村 岳史	京都大学大学院生命科学研究科講師
沼澤 修平	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
林 裕之	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
福永 真弓	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
	日本学術振興会特別研究員
本多 康生	日本学術振興会特別研究員
真壁 和裕	徳島大学総合科学部教授
麻住 知弘	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
松本 茂紀	東京大学大学院工学系研究科大学院生
村瀬 洋介	東京大学大学院工学系研究科大学院生
八尾 史	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
矢野 善久	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
湯川 諭	大阪大学大学院理学研究科准教授

* : コアメンバー

プログラム

- * WS の前半は、コアメンバーによるチュートリアル+自由形式のワーキンググループ（15 時以降）により構成します。
- * WS の後半は、若手メンバーを中心とした研究報告（各 30 分）+自由形式のワーキンググループ（15 時以降）により構成します。研究報告は最大 24 件可能です。

	9:00～10:00	10:30～12:00	13:30～15:00	15:00～
8/30 (木)		—		自己紹介
8/31 (金)	鳥海	似田貝	下田	
9/ 1 (土)	吉田	松永	鬼頭	真壁・中村/懇親会
9/ 2 (日)	伊藤	森反		ワーキンググループ
9/ 3 (月)	研究報告			フィールドワーク（宇治周辺）
9/ 4 (火)	大坂	山口		ワーキンググループ
9/ 5 (水)	西森			研究報告
9/ 6 (木)				研究報告
9/ 7 (金)	鳥海：全体のまとめ			—

発表者講演タイトル

8月 31 日 (金)

鳥海；プレート境界のすきまと組織化

似田貝；主体をめぐる社会学；新たなる社会の尖端的現象把握 II

下田；すきまの創出と再編としての仏教史—拡散、収束、複層化

9月 1 日 (土)

吉田；変分原理からみた物理的世界観

松永；哲学における理論と現実のはざま、技術が介在する見方

鬼頭；環境倫理の構造の検討—環境倫理におけるすきま

真壁；ホヤのセルロース分解酵素獲得

中村；活性化イメージングとシミュレーションによる神経突起伸張の解析

9月2日（日）

伊藤；理解の自己組織化

森反；現代社会と協働のまちづくり

ワーキンググループ

手塚；リベラリズムとデモクラシーの背反

小林；寛容とヒュームの懷疑主義

福永；すきまから立ち上がる多様性

本多；ハンセン病療養所における看護ケア

9月3日（月）

研究報告

麻住；アスベスト禍における隙間の問題

永野；ばらつきの生物学

9月4日（火）

大坂；疾病におけるすきまと組織化

山口；生物機械論と生命の認識

ワーキンググループ

秋山高行；カルノーサイクルの分子動力学

秋山正和；卵割の数理モデル

島村；私と他人の間にあるすきま—自己知の問題とその哲学的意義

9月5日（水）

西森；ありの群れ、非一様確率共鳴、バルハン衝突

研究報告

合原；アマガエルの物理

中津；反応系と生成系のすきま

上野；非一様あり集団の自己調節

小宮山；人工知能

9月6日（木）

研究報告

島田；Equilibrium distribution of microscopic energy flux

矢野；RT1の浮上制御のすきま

林；鏡は左右反転であり上下ではない

村瀬；計算統計物理のためのデータベース管理、データベース解析ソフト

沼沢；モデル間のすきまとその表現

松本；Wang-Landau サンプリング

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2007年度第2回コアメンバー研究会プログラム

開催日時：2007年 11月 24日（土） 14:00～17:30
11月 25日（日） 8:00～10:00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F） （11月 24日）
けいはんなプラザホテル （11月 25日）
619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7番地

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所特別委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：金森順次郎 所長

出席者：(6人)

研究代表者	鳥海 光弘	国際高等研究所特別委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
参加研究者 (5人)	伊藤 伸泰 鬼頭 秀一 下田 正弘 似田貝 香門 吉田 善章	東京大学大学院工学系研究科准教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 東京大学大学院人文社会系研究科教授 東京大学名誉教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

プログラム

11月 24日（土）
14:00～17:30 研究会〔セミナー1〕
夏のワークショップのまとめ

11月 25日（日）
8:00～10:00 研究会〔けいはんなプラザホテル〕
来年度の研究計画

配付資料
なし

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2008年度第1回コアメンバー研究会（通算第3回）プログラム

開催日時：2008年 6月 14日（土） 13:30～17:15
6月 15日（日） 8:00～10:00

開催場所：国際高等研究所セミナー2（2F）
けいはんなプラザホテル
619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7番地

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所特別委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：金森順次郎 所長

出席者：（5人）

研究代表者	鳥海 光弘	国際高等研究所特別委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
参加研究者 (4人)	伊藤 伸泰 下田 正弘 似田貝 香門 吉田 善章	東京大学大学院工学系研究科准教授 東京大学大学院人文社会系研究科教授 東京大学名誉教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

プログラム

6月 14日（土）

13:30～17:15 研究会〔セミナー2〕
　　昨年度のサマリーと今年度の課題（鳥海）
　　「組織化」の意味について（似田貝）
　　夏のワークショップの計画（吉田）

6月 15日（日）

8:00～10:00 研究会〔けいはんなプラザホテル〕
　　夏のワークショップの計画

配布資料（公開不可）

- 似田貝 香門
「組織化について—主体と構造の相互浸透 osmose というダイナミズム的把握をめざして」

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2008年度ワークショップ プログラム

開催日時：2008年9月13日（土）14:00開始
2008年9月19日（金）12:00終了

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）、研究個室103・104・105・109・110（1F）

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所特別委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：金森順次郎 所長

出席者：(26人)

研究代表者	*	鳥海 光弘	国際高等研究所特別委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
参加研究者	*	伊藤 伸泰	東京大学大学院工学系研究科准教授
(24人)	*	大坂 元久	日本獣医生命科学大学獣医学部教授
	*	下田 正弘	東京大学大学院人文社会系研究科教授
	*	西森 拓	広島大学大学院理学研究科教授
	*	似田貝 香門	東京大学名誉教授
	*	森反 章夫	東京経済大学現代法学部教授
	*	吉田 善章	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
		合原 一究	京都大学大学院理学研究科大学院生
		朝倉 友海	東京大学大学院人文社会系研究科教務補佐員
		河合 良介	広島大学大学院理学研究科大学院生
		川面 洋平	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
		越門 勝彦	立教大学非常勤講師
		齋藤 康則	大分大学福祉科学研究センター講師
		島村 修平	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
		清水 亮	東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
		忠地 慧	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
		永野 悅	京都大学大学院理学研究科大学院生
		沼澤 修平	東京大学大学院新領域創成科学研究科大学院生
		福永 真弓	立教大学社会学部助教
		本多 康生	日本学術振興会特別研究員
		簗輪 陽介	京都大学大学院理学研究科大学院生
		山口 裕之	徳島大学総合科学部准教授
		萬屋 博喜	東京大学大学院人社会系研究科大学院生

* : コアメンバー

話題提供者	藏本 由紀	京都大学名誉教授
(ゲストスピーカー)	鈴木 泉	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
(2人)		

プログラム

9月 13日（土）9:30～17:30

- ・ オリエンテーション
- ・ 鳥海 光弘：総論
- ・ 似田貝 香門：組織化について、主体と構造の相互浸透

9月 14日（日）9:30～17:30

コアメンバー報告

- ・ 鳥海 光弘：プレートの隙間の活動を探る
- ・ 吉田 善章：プラズマにおける構造と組織化
- ・ 大坂 元久：心臓の動き
- ・ 似田貝 香門：実践知と隙間の組織化—防災の思想
- ・ 伊藤 伸泰：コンピュータによるアボガドロ数挑戦

9月 15日（月）9:30～17:30

コアメンバー報告

- ・ 森反 章夫：まちづくり実践と都市計画レジームとの関係
- 長谷寺ヘフィールドワーク

9月 16日（火）9:30～17:30

チュートリアル

- ・ 鈴木 泉：現代フランス哲学は隙間の組織化論に対して何を貢献できるか。
- 17:30～懇親会

9月 17日（水）9:30～17:30

チュートリアル

- ・ 蔵本 由紀：科学における現象横断の視点
- 報告
- ・ 合原 一究：蛙の共鳴現象

9月 18日（木）9:30～17:30

コアメンバー報告

- ・ 西森 拓：非一様ノイズ結合系における確率共鳴および医療への応用
- 報告
- ・ 河合 良介：知覚における確率共鳴
 - ・ 永野 慎：倍数体と種分化

9月 19日（金）9:30～12:00

コアメンバー報告

- ・ 伊藤 伸泰：サウディアラビア、ジェッダの記録

総合討論

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2008年度第2回コアメンバー研究会（通算第4回）プログラム

開催日時：2008年 11月 29日（土） 14:00～17:00
11月 30日（日） 9:00～11:00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）
けいはんなプラザホテル
619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7番地

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所特別委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：金森順次郎 所長

出席者：（4人）

研究代表者	鳥海 光弘	国際高等研究所特別委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
参加研究者 (3人)	伊藤 伸泰 似田貝 香門 吉田 善章	東京大学大学院工学系研究科准教授 東京大学名誉教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

プログラム

11月 29日（土）
14:00～17:00 研究会〔セミナー1〕
研究報告と討論

11月 30日（日）
9:00～11:00 研究会〔けいはんなプラザホテル〕
今後の進め方
研究成果報告の方法
次期計画

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2009年度第1回コアメンバー研究会（通算第5回）プログラム

開催日時：2009年 6月 6日（土） 13:30～17:15
6月 7日（日） 8:00～10:00

開催場所：国際高等研究所セミナー2（2F）
けいはんなプラザホテル
619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7番地

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所企画委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：尾池 和夫 所長

出席者：（4人）

参加研究者 (4人)	伊藤 伸泰 似田貝 香門 森反 章夫 吉田 善章	東京大学大学院工学系研究科准教授 東京大学名誉教授 東京経済大学現代法学部教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
---------------	-----------------------------------	--

プログラム

6月 6日（土）
13:30～17:15 研究会〔セミナー2〕
サマリーと研究のまとめ方について
各領域の課題について（各人30分）

6月 7日（日）
8:00～10:00 研究会〔けいはんなプラザホテル〕
夏のワークショップの計画

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2009年度ワークショップ プログラム

開催日時：2009年9月5日（土）14:00開始
2009年9月11日（金）11:00終了

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）、研究個室103・106・107・108・109（1F）

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所企画委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：尾池 和夫 所長

出席者：(23人)

研究代表者	*	鳥海 光弘	国際高等研究所企画委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
参加研究者	*	伊藤 伸泰	東京大学大学院工学系研究科准教授
(20人)	*	大坂 元久	日本獣医生命科学大学獣医学部教授
	*	似田貝 香門	東京大学名誉教授
	*	森反 章夫	東京経済大学現代法学部教授
	*	吉田 善章	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
		朝倉 友海	神奈川大学非常勤講師
		江本 伸悟	東京大学大学院新領域創成学科大学院生
		清塙 明朗	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
		島村 修平	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
		富田 涼都	東京大学大学院農学生命科学研究科特任研究員
		永野 悅	農業生物資源研究所植物科学研究領域特別研究員
		原田 峻	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
		平岡 紘	東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
		福永 真弓	立教大学社会学部助教
		松浦 和也	埼玉大学非常勤講師／東京大学大学院人文社会系研究科大学院生
		松本 茂紀	東京大学大学院工学系研究科大学院生
		三浦 秀忠	東京大学大学院工学系研究科大学院生
		光田 尚生	東京大学大学院工学系研究科大学院生
		村瀬 洋介	東京大学大学院工学系研究科大学院生
		森野 佳生	京都大学大学院情報学研究科大学院生

* : コアメンバー

話題提供者	清水 亮	東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
(ゲストスピーカー)	鈴木 泉	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
(2人)		

プログラム

9月5日（土）

- 14:00 総論（これまでの報告；似田貝香門・吉田善章）
全体討論（まとめに向け）
17:00 オリエンテーション

9月6日（日）

- 9:30～11:30 基調講演1：似田貝香門「隙間論 terra incognita 解題 私にとっての隙間」
午後 室生寺ヘフィールドワーク

9月7日（月）

- 9:30～10:30 基調講演2：吉田善章「うずと磁場の統一性のトポロジー」
11:00～12:00 基調講演3：鈴木 泉「間の哲学—メルロ＝ポンティとドゥルーズー」
午後 研究発表
 - 島村修平「合理的行為主体はなぜ自己知を持たなくてはならないのか
—自我と他我の『すきま』を生み出す条件としての自己知」
 - 松浦和也「学問と隙間、アリストテレスの diastema」
 - 松本茂紀「リボゾームのモデル」
 - 永野 悅「野外では何が起きているか、実験と野外のすきま」

9月8日（火）

- 9:30～12:00 基調講演4：森反章夫「まちづくりと地域の自己組織化—国分寺市の場合」
午後 研究発表
 - 福永真弓「サケの増殖事業と伝承知のアクチュアリティの創造」
 - 三浦秀忠「人工市場シミュレーションによる市場流動性と価格拡散の研究」
 - 光田尚生「球形気液界面の分子動力学シミュレーション」

16:30～懇親会

9月9日（水）

- 9:30～10:30 基調講演5：清水 亮「建築をめぐる都市の住民運動～法と現実の隙間から～」
11:00～12:00 基調講演6：大坂元久「突然死と心臓」
午後 研究発表
 - 富田涼都「自然再生事業をめぐる論理の『すきま』」
 - 村瀬洋介「群集形成の統計力学」

9月10日（木）

- 9:30～10:30 基調講演7：伊藤伸泰「計算機科学とモデル」
11:00～12:00 基調講演8：鳥海光弘「地球観測と多次元情報の次元縮約」
午後 まとめの討論

9月11日（金）

- 10:00～11:00 総括

国際高等研究所
研究プロジェクト「すきまの組織化」
2009年度第2回コアメンバー研究会（通算第6回）プログラム

開催日時：2009年 11月 14日（土） 13:30～17:30
11月 15日（日） 8:00～9:30

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）
けいはんなプラザホテル
619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7番地

研究代表者：鳥海 光弘 国際高等研究所企画委員
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
担当所長・副所長：尾池 和夫 所長

出席者：（7人）

研究代表者	鳥海 光弘	国際高等研究所企画委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
参加研究者 (6人)	伊藤 伸泰 鬼頭 秀一 似田貝 香門 吉田 善章 大堀 研 清水 亮	東京大学大学院工学系研究科准教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 東京大学名誉教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 東京大学社会科学研究所助教（松永氏代理） 東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授（森反氏代理）

プログラム

11月 14日（土）
13:30～17:30 研究会〔セミナー1〕
まとめについての検討

11月 15日（日）
8:00～9:30 研究会〔けいはんなプラザホテル〕
来年度の活動についての検討